



通信

合気道は 丸く捌いて、三角に入身して、四角に固める。

VOL. 2

令和元年10月1日

作成：長岡正宏



撮影：長岡

合気の旅

写真は茨城県笠間市の合気神社境内にある道歌の碑である。開祖植芝盛平が特に好んでいた道歌である。
『美しき此の天地の御姿は主の作りし一家なりけり』
この地を「合気苑」と名付け万有愛護・地上天国の建設を目指し、武農一如の生活をされていた。現在、合気道の聖地とされている。



合気道広島会秋季講習会

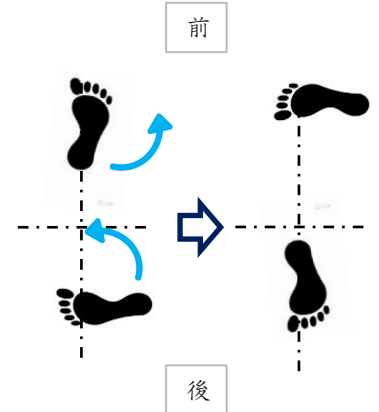
(行事予定)

11月2日(土) 15:00~17:00
合気道広島会演武会 県立体育館武道場

11月24日(日) 9:30~12:00
合気道広島会昇段審査&稽古会 県立体育館武道場

9月21日・22日に県立体育館武道場で合気道広島会秋季特別講習会が開催され、5大学の合気道部と8道場が参加された。
私も少しだけお手伝いをした。合わせによる腕の使い方を指導。皆さんを見て感じたことは、腕しか使っていないということだ。それでは、自分のエネルギーは相手に作用することはないだろう。講習会などに積極的に参加して、様々なタイプの人と稽古を行い、身体の使い方を極めてもらいたい。

ワンポイント・アドバイス



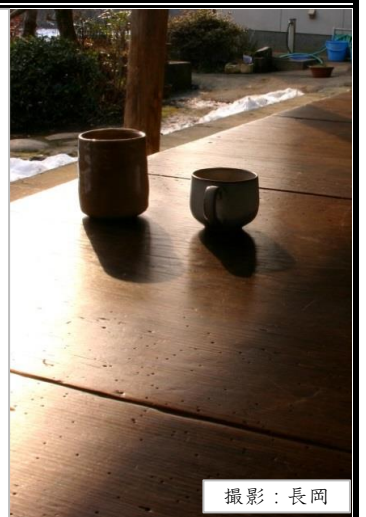
一重身裏三角法の利点の一つに、足を踏みかえることなく一瞬で真後ろへ剣が振れることにある。



回り込んで入身に入る。相手の芯をとらえているので相手は逃げるできない。

右の写真は、縁側にある湯呑とカップだ。影から湯呑の傾きが想像できる。
よく見ると縁側が磨かれている為、湯呑とカップが鏡のように縁側に映っている。すなわち縁側に湯呑とカップの影が2つあることになる。
陽による影は歪んでいる。皆さんは歪んだ見た目の影を追って合気道をされているような感じがする。心を磨き心を無にして相手と向き合ってもらいいたい。自分の心に見た目とは違う相手の姿が映し出されるだろう。この縁側のように。

道心探究



撮影：長岡

～先人の言葉～

身体を伸ばしながら、宇宙の隅々へ広がるように息を吐きなさい。

渡邊信之本部師範 (令和元年8月20日逝去)

